

事業所名	社会福祉法人のゆり会 のぞみ牧場学園		支援プログラム	作成日	2026年	4月	6日
法人理念	子どもから成人まで、すべての人の健やかな成長を願い、その時代と個々のニーズにかなった福祉サービスを提供する。保護者への支援を通して、現在の課題だけでなく将来を見据えた展望を共有し、協働しながら支援を進める。地域社会に開かれた施設として、地域とのつながりを大切に、誰もが安心して利用できる環境づくりを目指す。						
支援方針	保育・療育の専門性を基盤とし、子どもの特性やニーズに適合した支援プログラムを提供する。豊かな自然環境を活かした活動や動物とのふれあい活動を取り入れ、心理的困難を抱えやすい子どもや保護者に対して情緒の安定を図るとともに、社会性や対人関係の発達を促す。保護者へのカウンセリングや相談支援を通して、現在の課題だけでなく将来を見据えた問題解決を共に模索し、家庭と協働しながら子どもの成長を支える。						
営業時間	8時	30分	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	子どもの健康状態を日常的に確認し、必要に応じて適切な対応を行う。保護者または関係支援者と連携し、心身の状況を共有しながら支援を進め、利用中に体調の変化が見られた場合には、医療機関の受診や保護者への速やかな連絡など、状況に応じた対応を行う。食事、衣類の着脱、排泄、身だしなみを整えるなど、生活を営むうえで必要となる基本的な生活技能の習得に向けて、視覚支援の提示や手順の構造化など、子どもの障害特性に応じた方法で指導を行う。子どもが安心して生活動作に取り組みめるよう、環境調整や関わり方の工夫を行い、成功体験を積み重ねられる場を整える。					
	運動・感覚	NCプログラム（認知言語促進プログラム）を用いて、粗大運動および微細運動の発達状況を評価し、作業療法士を中心とした専門職が一人ひとりの子どもの特性に応じた支援を行う。日常生活に必要な動作の基盤となる姿勢保持、上肢・下肢の運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化に向けて、段階的で具体的なアプローチを実施する。感覚統合の視点を取り入れ、子どもの感覚ニーズに応じて必要な感覚刺激を調整し、過敏・鈍麻・探索行動などの特性に配慮した環境設定を行う。乗馬セラピーでは、馬の揺れやリズムを活用し、体幹の安定、姿勢の改善、腹筋・背筋を中心とした筋力強化を図り、身体感覚の調整やバランス能力の向上につなげる。					
	認知・行動	発達検査およびNCプログラムに基づき、心理士等が一人ひとりの子どもの認知発達および行動特性を評価し、発達段階に応じた適切な指導を行う。子どもの理解力や注意の特性に合わせて指示の伝え方を工夫できるよう、保護者や支援者に対して助言を行い、家庭や関係機関との連携を図る。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さなどから生じる不適切な行動に対しては、事前の環境調整や予防的な支援を重視し、子どもが適切な行動を選択できるよう段階的な支援を行う。行動の背景にある要因を丁寧に捉え、安心して活動に参加できる環境づくりを通して、自己調整力や適応行動の向上を目指す。					
	言語コミュニケーション	日常的にマカトンサインや絵カードなどのAAC（補助代替コミュニケーション）を活用し、子どもの表出・理解の両面から言語およびコミュニケーションの発達を促す。NCプログラムに基づき、表出言語・理解言語の発達段階を評価し、子ども一人ひとりに適したコミュニケーション手段（マカトンサイン、絵カード、視覚支援など）を選定する。そのうえで、子どもが伝えやすく理解しやすい環境設定や関わり方の調整を行い、安心して意思表出できる場を整える。音楽療法では、リズム・音・身体表現を通じて非言語的コミュニケーションの発達を促し、自己表現の幅を広げる。					
	人間関係社会性	日常の遊びや保育場面を通して、人との関係を意識し、身近な大人や友だちとの親密で安定した関係を築けるよう支援を行う。その信頼関係を基盤として、周囲の人との関わりを広げ、社会的なやりとりや協同的な活動に参加できる力の育成を目指す。子どもの発達段階や特性に応じて環境調整や関わり方を検討し、自発的に集団へ参加し、手順やルールを理解しながら遊びや集団活動に取り組みめるよう支援する。音楽療法やアニマルセラピーなどの活動を通して情緒の安定を図り、安心できる関係性の中で、適切な対人スキルや周囲との関わり方を身につけられるよう支援する。					
家族支援	日々の連絡帳や個別面談を通して、子どもの発達状況や生活の様子を保護者と共有し、相互に理解を深めながら支援を進める。保護者参観日や保護者向け講習会を実施し、ペアレントトレーニングを含む適切な関わり方や家庭での支援方法について助言を行う。きょうだい児向けの行事を開催し、家族全体が安心して参加できる機会を設けるとともに、きょうだい児の心理的負担や孤立感に配慮した支援を行う。家庭と施設が協働し、子どもの成長を継続的に支える体制を整える。	移行支援	保育所等との併用がある場合は、利用日数や活動内容の調整を行い、併用先と支援内容や支援方法を共有することで、子どもが一貫した支援を受けられるよう連携を図る。保育所等への転園が見込まれる場合には、これまでの支援内容や子どもの特性、効果的な関わり方について必要な情報を整理し、受け入れ先へ確実に伝達する。子どもが新しい環境に安心して移行できるよう、関係機関との協働を通して継続的な支援体制を整える。				
地域支援・地域連携	地域中核拠点登録事業所として、地域の障害児支援事業所を対象とした研修会を実施し、専門的知見の共有と支援力の向上に寄与する。保育所等訪問支援を実施し、地域の保育施設における支援方法の助言や環境調整の提案を行い、子どもが安心して過ごせる場づくりを支援する。近隣の保育園との交流を通して、子ども同士の関わりや地域とのつながりを広げ、インクルーシブな環境づくりを推進する。地域行事への参加や、地域に開かれたイベントの開催を通して、地域住民との交流を深め、施設の役割や活動を広く発信する。	職員の質の向上	職員が専門性を高められるよう、研修への参加や資格取得を積極的に推奨し、学び続ける体制を整える。年間計画として研修機会を設定し、内部研修・外部研修・多職種連携研修など、職員が継続的に知識と技術を向上できる場を確保する。行政機関や子どもに関わる関係機関との連携会議に参加し、最新の情報や支援方法を共有するとともに、地域の支援体制の向上に寄与する。職員間での情報共有や振り返りを重視し、組織全体として支援の質を高める文化を育てる。				
主な行事等	園内行事：入園式、卒園式、誕生会、運動会、クリスマス会、音楽発表会、卒園遠足、フルーツバスケット（きょうだい会）、保育園交流 等 地域行事：羊の毛刈りパーティー（地域イベント）、ハワイアンナイト（地域イベント）						